

鹿沼市では新庁舎整備を進めています！！

市民の皆様へ

平成 24 年からスタートした新庁舎整備の検討は、市民の皆様の声聞きながら、議会の了解もいただき、平成 26 年 8 月に、建設位置を現庁舎位置とする「基本構想」を策定しました。

平成 27 年 5 月には、より具体的な「基本計画」を策定しましたが、その後、オリンピックの開催による建設費の高騰などのため、延期としていました。

しかし、平成 28 年 4 月の熊本地震では、被災地の多くの庁舎が被害を受けたことにより、復旧に大きな遅れが生じてしまいました。

そのため、鹿沼市では、市民の皆様安心して暮らしていただけるよう、防災拠点としての新庁舎整備を再開しています。

今回は、新庁舎整備の現状と今後の進め方について、お知らせします。

鹿沼市長 佐藤 信



1：市民の皆さんとの3つの約束

- ①建設予定地は『**現庁舎位置**』
- ②総事業費は『**60 億円以内**』
- ③鹿沼産材を可能な限り使用した『**木造木質化の検討**』



2：基本計画の内容

- ①新庁舎の延べ床面積は 12,000 m²以内とし、既存公共施設の機能見直しにより更なる面積削減を目指します。
- ②来庁者用駐車場は **150 台（現在 78 台）** を確保します。その他、周辺に公用車駐車場、職員用駐車場を確保します。
- ③新庁舎の構造や階数等は、今後設計業者の提案に基づき、市民や議会と協議しながら決定していきます。



3：今後のスケジュール

- ①今年度は基本設計に着手します。(29 年度～30 年度)
- ②その後、実施設計 (30 年度～31 年度) を行い、工事に着手します。
- ③新庁舎完成は、平成 34 年度を見込んでいます。

教えて！ 新庁舎のこと！！

Q. どうして現庁舎位置なの？

A. 現庁舎は、歴史のある場所にあります。また、交通の便が良く、郵便局や病院などの施設も集まり、利用しやすい場所です。
市の中心としてだけでなく、庁舎はまちのシンボルです。これまでも、これからもまちづくりの中心としての新庁舎を建設します。

Q. 現庁舎位置で防災拠点として対応できるの？

A. 災害の時には、新庁舎は「災害対策本部」となります。災害避難所は、これまでどおり各コミュニティセンターや小中学校の体育館になります。いざという時には、御殿山公園の活用もできます。



写真：災害対策本部の様子

Q. 市民の意見、特に若い人の意見はどうだったの？

A. 「市政に関する世論調査」（平成 25 年度実施）では、「現在地 38.7%」、「他の場所 38.7%」と同率でした。世代別では、これからの鹿沼市を担う若い世代、20 代では 65.7%（移転は 13.4%）、30 代でも 46.1%（移転は 25.2%）が、現庁舎位置と回答しています。

新庁舎について、ご不明な点がございましたらご連絡ください

■お問い合わせ先：鹿沼市 庁舎整備推進室 ☎63-2481